

標 題 : Extra-Virgin Olive Oil from Apulian Cultivars and Intestinal Inflammation
Apulian 地域の品種由来のエクストラバージンオリーブ油と腸炎

著 者 : M. Cariello, et al. (イタリア バーリ大学 学際的医学部
Clinica Medica Cesare Frugoni)

掲 載 誌 : Nutrients. 2020 Apr 14; 12(4): 1084.

要 旨 :

炎症性大腸炎(IBD)は多因子腸疾患で、慢性的腸炎が特徴である。

炎症性大腸炎の病因はまだ明らかでないが、遺伝、環境および宿主の要因がその疾患と関連した。

エクストラバージンオリーブ油は地中海食事の中心的要素であり、アラキドン酸およびNF- κ B シグナル伝達経路を妨げることによって慢性炎症を抑制させる。

特に、エクストラバージンオリーブ油の各種成分は、健康に関する有効性をその作用部位に与えることが可能である。

例えば、オレイン酸は肝機能障害および消化管炎症に予防効果を示し、その一方でフェノール化合物は結腸細胞を酸化損傷から保護して炎症性大腸炎における慢性炎症の症状を改善させる。

エクストラバージンオリーブ油の生物学的特性を考慮して、その投与が保護を与えるかどうかをデキストラン硫酸ナトリウム(DSS)誘発性大腸炎のマウスモデルで我々は研究した。

イタリアの Apulian 地域由来の 4 品種のエクストラバージンオリーブ油、つまり Ogliarola (Cima di Bitonto)、Coratina、Peranzana および Cima di Mola を使用した。

エクストラバージンオリーブ油の投与は、我々の大腸炎モデルで体重減少の低下をもたらした。

さらに、Ogliarola、Coratina および Cima di Mola のエクストラバージンオリーブ油を与えたマウスは、直腸出血および IL-1 β 、TGF β 、IL-6 の遺伝子発現値の低下を見せた。

さらに、Ogliarola、Coratina および Peranzana のエクストラバージンオリーブ油の投与は、腸の透過性および炎症の病理組織学的特徴を改善した。

我々のデータは、ヒトの健康増進におけるエクストラバージンオリーブ油補給の良く知られた有効性をさらに立証し、そして腸炎の発症の予防および進行の軽減におけるエクストラバージンオリーブ油の正真正銘の寄与を示唆する。

キーワード : オリーブ油、炎症性大腸炎、腸 炎、動物実験、マウスモデル
